

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
専門研究Ⅱ				加藤 好雄	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	3年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>学科の目的は「社会科学の各分野を統合した教育により、北近畿地域において強く求められている、地域社会の再生、企業活動の活性化を目指して、実践的能力を活用できる人材を育成する」とされている。</p> <p>本授業の「専門研究Ⅱ」では、今までに習得した知識・能力を生かして自ら研究テーマを設定して研究を行う。また、次年度の「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」での論文執筆の事前準備として位置付けている。このために論文のテーマ、研究の背景、研究の目的、調査手法、分析手法、研究成果の予測等からなる研究計画書の作成を行う。次に、先行研究の調査を行い、論文を執筆することを経験することで次年度の「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」につなげる。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>本講義では、以下の3点の知識・能力を習得することを目的とする。</p> <p>①研究計画書を作成することができる。          ②既存研究の調査ができる。          ③調査・分析の手法を選択できる。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンス・テーマの設定				
第 2 回	研究計画書の作成①				
第 3 回	研究計画書の作成②				
第 4 回	研究計画書の作成③				
第 5 回	研究計画書の提出・指導①				
第 6 回	研究計画書の提出・指導②				
第 7 回	研究計画の発表				
第 8 回	現地調査① (テーマにより現地調査が必要な場合)				
第 9 回	現地調査② (テーマにより現地調査が必要な場合)				
第 10 回	論文指導① (はじめに)				
第 11 回	論文指導② (本文①)				
第 12 回	論文指導③ (本文②)				
第 13 回	論文指導④ (おわりに)				
第 14 回	経過報告				
第 15 回	次年度の予定作成・報告				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
論文は週1回の授業時間だけでは執筆することはできないため、調査、分析、論文執筆等は授業時間外で行う必要がある。					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
平常点 研究成果	(40%) (60%)	秀：「授業の到達目標」を非常に高いレベルで満たしている。 優：「授業の到達目標」を高いレベルで満たしている。 良：「授業の到達目標」を十分に満たしている。 可：「授業の到達目標」を満たしている。 不可：「授業の到達目標」を満たしていない。
テキスト (Textbook)		【書名】 【著者】 各自のテーマによる。 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		各自のテーマによる。
備考 (Other Information)		考察だけではなく実証的・科学的な手法を重視するために定量的な分析手法の習得が必要。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		第1回目の講義で説明する。